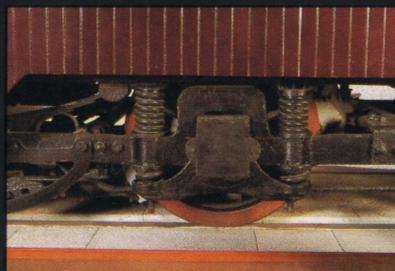




仙合市電保存館



大正15(1926)年11月25日、市民待望の市電が大町一丁目～仙台駅前～荒町間で営業を開始し、交通局の歴史が始まりました。全盛期の昭和30年代には循環線と長町、八幡町、北仙台、原町各線の営業キロは16kmにも及びました。

市電は昭和51年3月に全線廃止となりましたが、地下鉄が走るようになった平成元年の仙台で七夕パレードに参加して注目を浴びた1号車は、関係者の熱意が実り、昭和24年から長く仙台市電の主力として活躍した100型(123号車)、最後の新造車である400型(415号車)とともに、地下鉄富沢車両基地内の市電保存館で公開されることになりました。

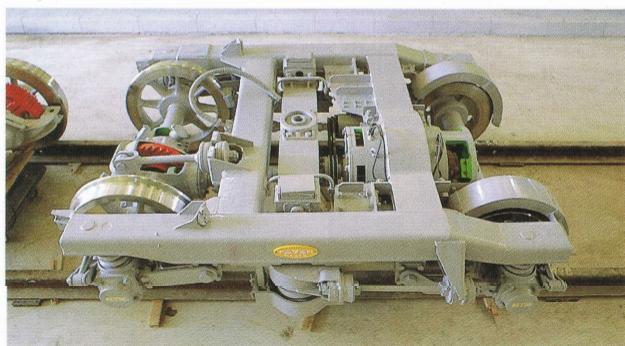
市電保存館は、面積322平方メートル、中2階を設け、市電とその部品のほか、パネル写真、市電廃止時のビデオテープ等を展示しております。



1号車(モハ1型)

大正15年9月に川崎造船所で新造された木造四輪単車。大正15年11月25日の市電創業の時から約40年にわたり、仙台市民の足として大いに活躍しました。昭和51年の市電廃止時には創業当時の姿に修復されてお別れ運転を行いました。

定員	40人(内座席18人)
最大寸法	7,924mm(長)×2,200mm(幅)×3,518mm(高)
自重	7.63 t
速度	28.2km/h
製造価格	9,450円



台車

昭和37年9月に製造された410号車の台車で、全国的にも珍しい直角カルダン駆動方式を採用したものです。落葉や積雪によるスリップを少なくする工夫が施されたほか、減速機は、自動車用歯車を使用し、部品の調達を容易にして保守性の向上を図りました。

東

裁判所前
東二番丁
(仙台郵便局前)

停留所名板



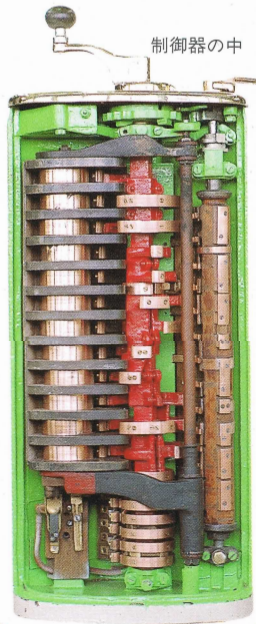
銘板

制御器(コントローラー)

仙台市電はすべてこの直接直並列式制御器を使用していました。中央の主ハンドルで抵抗及び電動機の直並列制御を行い、電車の速度を調節します。また、主ハンドルを逆方向に操作することにより非常用電気ブレーキが作用するようになっています。右側のリバースハンドルは前後進の方向転換を行います。



制御器の中



支えた半世紀

展示品



123号車(モハ100型)

100型は仙台市電では最初の大形車。123号車は昭和27年7月に新潟鉄工所で新造された半鋼製二軸ボギー車で、市電廃止まで長く主力電車として活躍しました。(廃止後、117、118、119、121、124号車は長崎電気軌道株式会社に譲渡されました。)

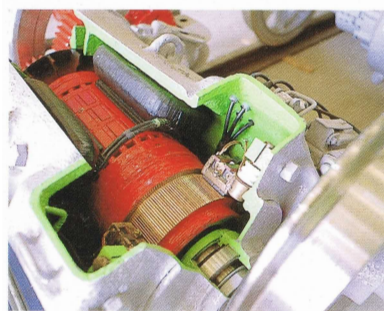
定員	84人(内座席28人)
最大寸法	11,400mm(長)×2,174mm(幅)×3,665mm(高)
自重	14.0 t
速度	21.0km/h
製造価格	700万円



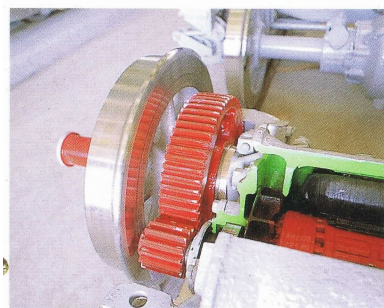
415号車(モハ400型)

昭和38年4月に日本車両製造所で製作された全鋼製二軸ボギー車。仙台市電最後の新造車で、市電廃止まで活躍しました。軽量化と自動車部品を取り入れて保守性の向上を図っていました。

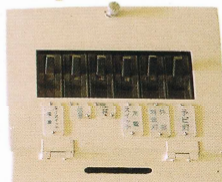
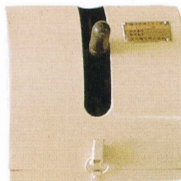
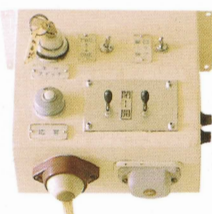
定員	84人(内座席28人)
最大寸法	11,900mm(長)×2,200mm(幅)×3,725mm(高)
自重	13.7 t
速度	23.8km
製造価格	895万円



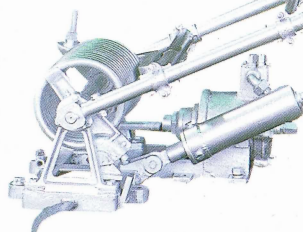
モーター部



ドライブギア

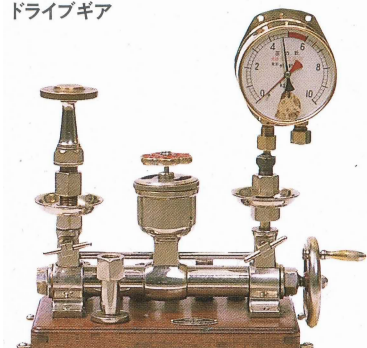


メインパネル各種



パンタグラフ

市電に取り付けたときの形状からZ(ゼット)パンタグラフと呼ばれていました。構造が簡単なうえ、風圧の影響を受けにくく、架線への追随性が良いなど、大変高性能であったため昭和29年頃より各車両に使用されました。



空気圧力計検測器



乗車券 大正15年11月25日(創業時)のもの



回数券 昭和4年8月7日～昭和19年6月30日のもの

交通局年表

大正15年11月25日 市電開通（大町一丁目～
仙台駅前2.1km、東五番町～荒町1.2km）
昭和3年3月28日 市電循環線全通（6km）
3年4月8日 市電芭蕉の辻線開通（0.3km）
11年12月11日 市電長町線全通（4.2km）
12年10月26日 市電北仙台線全通（1.2km）
16年10月10日 市電八幡町線全通（1.6km）



市電開通日の仙台駅前風景



昭和28年頃の仙台駅前バス停留所風景

昭和17年8月21日 市バス営業開始
（仙台市街自動車株式会社を買収）
19年3月31日 市電芭蕉の辻線廃止
23年5月5日 市電原町線全通（3km）
27年4月20日 市内定期観光バス運行開始
29年8月1日 市電全線複線化完成
34年4月1日 仙台松島定期観光バス運行開始

昭和40年7月1日 ワンマンバス運行開始
42年11月7日 市電ワンマンカー運行開始
44年3月31日 市電北仙台線廃止
51年3月31日 市電廃止
56年5月7日 地下鉄南北線着工
62年7月15日 地下鉄南北線開業
平成3年4月25日 市電保存館開館
4年7月15日 地下鉄八乙女・泉中央間開業
15年9月18日 地下鉄東西線鉄道事業許可
19年2月5日 地下鉄東西線着工



市電お別れ式

地下鉄

昭和62年7月に開業した仙台市地下鉄は、世界で初めてファジー制御による自動運転を実現した、乗り心地の良い地下鉄として知られています。また、地下鉄は大量輸送機関としての役割にとどまらず、街づくりの核として大きな期待を担っています。



営業キロ 14.8km
駅数 17駅
車両数 84両
走行キロ数 18,956 km/日
乗車人員 16万人/日

平成18年度

市バス

市バスは市内一円に及ぶ営業圏域を持ち、市民生活に密着したきめ細かな輸送サービスを提供しています。地下鉄、JRを補完して都市の交通ネットワークを形成するとともに、仙台都市圏の多くの地域において主要な「市民の足」として毎日約11万人のお客様を運んでいます。



車両数 495両
営業路線 570km
路線と系統 48路線、231系統
走行キロ数 51,040km/日
乗車人員 11万人/日

平成18年度

仙台市電保存館

開館時間/午前10時～午後4時

休館日/月曜日（月曜日が祝祭日の場合は翌日）

祝祭日の翌日（日曜日に当たる日を除く）

12月28日から翌年1月3日

入館料/無料 ※冬期間（12月1日から翌年3月19日）は土・日曜日、祝日のみ開館（祝日が日曜日の場合は翌日も開館）

所在地/仙台市太白区富沢字中河原2-1

地下鉄富沢車両基地内（地下鉄富沢駅下車徒歩15分）

お問い合わせ/☎022(244)1267



仙台市交通局

〒980-0801 仙台市青葉区木町通一丁目4番15号
電話 022(224)5111(代表)

スタンプ欄